

◇ 保護者のみなさまへ ◇

## 一人一人のすこやかな成長を願って



富山県では、子供たち一人一人の個性や可能性を最大限に伸ばし、生き生きと学校生活を送り、将来的に自立し社会参加をしていく力を育てるため、一人一人に応じた教育の充実を目指しています。

## 病弱・身体虚弱の子供の教育

慢性疾患等のため継続して医療または生活規制を必要とする子供のために、特別支援学校があります。医療機関と密接な連携を図りながら、病弱による学習上または生活上の困難を克服し自立を図るために必要な教育を行っています。



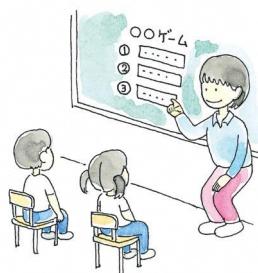
また、病気で入院している子供のために病院内に設けられた病弱・身体虚弱特別支援学級と、入院を必要としないが病弱又は身体虚弱のため特別な配慮や支援が必要な子供のために学校内に設けられた学級があり、病状等に合わせた教育を行っています。

## 言語障害の子供の教育



発音の誤りなどのために分かりにくい話し言葉になっていたり、言葉の発達に遅れがあったりする子供のために、言語障害特別支援学級と言語障害通級指導教室があります。

遊びを通して気持ちをほぐしながら、子供の発語を促し、様々な語音の聞き取りや発声・発音の練習をするなど、一人一人の障害の状態に応じた教育を行っています。



## 自閉症・情緒障害の子供の教育

自閉症などと心因性の選択性かん默などの子供のために、自閉症・情緒障害特別支援学級と情緒障害通級指導教室があります。個別指導や小集団での指導など障害の状態に応じて様々な工夫をこらし、社会性を育む教育を行っています。

## 学習障害等の子供の教育



学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）やその傾向がある子供のために、学習障害通級指導教室があります。

苦手な部分を克服できるよう一人一人の学び方の特性に合わせた方法を工夫し、行動や対人関係のスキルを身に付けるための指導を取り入れるなど、学習上または生活上の困難を改善するための教育を行っています。



## 訪問教育

障害の状態が重度であるかまたは重複しているため、学校へ通学して教育を受けることが困難な子供のために、教員が家庭や施設、病院等を訪問して教育を行っています。

# 一人一人に応じた教育的支援のために

特別支援教育は、障害のある子供たちが自立し、社会参加するために必要な力を培うため、子供一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活上や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導と必要な支援を行うものです。

特別支援学校や特別支援学級のみならず、通常の学級に在籍する子供も含め、特別な支援を必要とする子供たちが在籍するすべての学校において実施されます。

## 視覚障害の子供の教育

見えなかつたり、見えにくかつたりする子供のために、特別支援学校や弱視特別支援学級があります。また、特別支援学校で通級による指導を行っています。

幼児期から、感覚訓練や歩行訓練を行い、点字や拡大文字を使い一人一人の見え方に合わせた教育を行っています。特別支援学校高等部では、はり、きゅう、マッサージなどの職業教育も行っています。



## 聴覚障害の子供の教育



身の回りの音や話し言葉が聞こえにくかつたり、ほとんど聞こえなかつたりする子供のために、特別支援学校と難聴特別支援学級があります。また、特別支援学校で通級による指導を行っています。

早期からの教育を重視し、言葉の習得やコミュニケーションなどに配慮したきめ細かな教育を行っています。

## 知的障害の子供の教育

知的発達に遅れがみられ、社会生活への適応が難しい子供のために、特別支援学校と知的障害特別支援学級があります。

少人数の集団の中で、一人一人の発達の状態に応じた教育を行っています。基本的な生活習慣の確立や、社会生活に必要な知識、技能及び態度などを養うことに重点を置いています。



## 肢体不自由の子供の教育



脳性まひ、骨関節疾患など、四肢や体幹に運動機能障害のある子供のために、特別支援学校と肢体不自由特別支援学級があります。

肢体不自由による学習上または生活上の困難を克服し自立を図るため、動作、感覚、言語などの学習を重視するとともに、一人一人の障害の状態や発達段階に応じた教育を行っています。

# 小・中学校で学ぶ子供の特別支援教育

◇通常の学級も含め、学校全体で特別支援教育を実施します◇

## 通常の学級

学習や生活する上で必要な支援を行います。少人数指導や支援員の配置を行う場合もあります。

## 通級による指導

通常の学級に在籍し、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、決まった時間だけ、個別に障害の状態に応じた指導を受け、学習上または生活上困難の改善・克服を図ります。



交流  
及び  
共同  
学習

## 特別支援学級

障害の種別ごとの少人数学級で、一人一人に応じた教育を行います。

## 交流及び共同学習

交流及び共同学習は、障害のある子供にとって経験を広げて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育む上で、たいへん意義のあることです。また、障害のない子供や地域の人々が、障害のある子供とその教育に対する正しい理解と認識を深める絶好の機会でもあります。同じ社会で生きる人間として、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ場となる重要な活動です。



◇一人一人のニーズに応じた支援を行います◇

児童生徒からの相談

教師の気づき

保護者からの相談

相談

## 特別支援教育コーディネーター

保護者の相談窓口、担任の支援、関係機関との連携

## 校内委員会

- ・子供の実態を把握して、支援内容・方法、支援の在り方を検討します。
- ・子供の指導方針などについて、教職員間で共通理解を図ります。
- ・保護者や関係機関との連携を図ります。
- ・校内研修会などを計画し、教職員の指導力の向上を図ります。

## お子さんにこんな様子が見られませんか？ご家庭で悩んでいませんか？



### お子さんもきっと困っています

- 「何でできないの」と、せめる前に、原因を考えてみませんか。
- 子供のつまずきは同じようでも、その原因は一人一人違います。
- 本人の努力だけではうまくいかない場合があり、失敗を繰り返すと、反抗的な態度をとったり、無気力になったりします。



### 子育てワンポイントアドバイス！

- 子供の得意なこと、苦手なことを理解しましょう。
- 本人なりのがんばりを認め、自信をもたせるようにしましょう。
- どうしたらよいか、子供にとって分かりやすい環境を整えてあげましょう。
- 子供の困った気持ちを言葉にしてあげましょう。  
例)「うまく言えなくてイライラしたね」



一人で悩まず、まずは学校に相談してください。

子育てや教育について困ったとき、地区相談会でも気軽に相談ができます。

## 地区相談会

教育、保健、福祉の専門家が相談をお受けします。  
まずは、お住まいの市町村の教育委員会にお申し込みください。  
学校を通じて申し込むこともできます。

富山県総合教育センターのホームページでも詳しくご覧になれます。

<http://center.tym.ed.jp/>

地区相談会お問い合わせ先		滑川市教育委員会	(076)475-2111
朝日町教育委員会	(0765)83-1100	上市町教育委員会	(076)472-1111
入善町教育委員会	(0765)72-3854	立山町教育委員会	(076)462-9981
黒部市教育委員会	(0765)54-2111	舟橋村教育委員会	(076)464-1121
魚津市教育委員会	(0765)23-1044	小矢部市教育委員会	(0766)67-1760
射水市教育委員会	(0766)51-6635	砺波市教育委員会	(0763)82-1903
高岡市教育委員会	(0766)20-1472	南砺市教育委員会	(0763)23-2012
氷見市教育委員会	(0766)74-8213	富山市教育委員会	(076)443-2135

\*「にこにこ相談会」や「さわやか相談会」としている地域もあります。

### 地区相談会を利用した方々の感想より

▶思い切って地区相談会に行ってみました。話を聴いてもらってとても気持ちが楽になり、子育てを頑張ろうという気持ちになりました。



▶初めは緊張しましたが、子供がすぐにかんしゃくを起こす原因が分かり、対応についても教えてもらい毎日実行しています。



▶担任の先生と一緒に相談に行きました。勉強もいろいろな方法があるのでですね。今では、宿題も苦にならなくなりました。



心配な様子が続く場合は、専門の教育相談担当者に相談することができます。

富山県総合教育センター 教育相談部  
特別支援教育担当 TEL 076-444-6351

東部教育事務所 TEL 076-444-4569  
西部教育事務所 TEL 0766-26-8461

お子さんの生き生きとした学校生活を支えることができるよう、一緒に考えていきましょう！

富山県教育委員会 県立学校課 TEL 076-444-3451

2019年 6月